

あいめーる

AUTUMN

地域生活支援事業所特集 愛隣館通信

平成 26 年 10 月 25 日発行 〒861-0551
 発行 熊本市山鹿市津留 2022
 社会福祉法人 愛隣園 TEL 0968-43-2771
 障害者支援施設 愛隣館 FAX 0968-43-2793
 発行責任者 三浦貴子 http://aileans.com
 編集 広報チーム E-mail
 キャリーピジョン ailinkan@magma.jp



(写真：有働さんのブドウ畑にて)

た。茶碗を作成されました。
 この日は、お孫さんの結婚祝いの夫婦を頼りに陶芸に取り組んでおられます。
 愛隣館では、愛隣工房にて、手の感触を頼りに陶芸に取り組んでおられます。

友にも届けられています。
 それから二十年、剪定・消毒・袋掛けなど一連の作業を手と体の感覚だけを頼りにほぼ一人で、ブドウ作りを続けてきました。
 手塩にかけ収穫されたブドウは、デイケアの仲間や親戚、友人にも届けられています。

かと始めました。
 平成三年六月の愛隣館デイケア設立当初からご利用の有働末義さんの事が、九月十五日の敬老の日に関 KK テレビ「夕方いちばん」で放送されました。
 八十四歳の現役農家である有働さんは、五十代半ばに神経を患い、十年後には両目とも光すら感じる事が出来なくなりました。とても気持ちが落ち込みましたが、それでも農業は続けたいと思っていました。収穫時期を色で判断するメロンやトマトは無理でしたが、今まで育てた事がなかったブドウなら可能ではないかと始めました。

有働さん敬老の日特集
 テレビ放映



愛隣工房での撮影風景



館長

三浦 貴子

今年の中秋は九月と共に訪れました。

愛隣館の月見歌会、月の部・雑詠の部にたくさん
の短歌、俳句が詠まれ、気持ちの行き交うひと時と
なりました。一席から三席まで、当日に選句。さら
に「地域特別賞」が十七本出揃いました。一選五〇
〇円の参加費にて、地域の選者となって頂く方々が
増え嬉しい限りです。どなたでも参加できます。

利用者、ご家族、職員などの思いを詠む句を通し
て、人と人との静かなつながりが生まれています。
障害のある人々の日常や、心を揺らす特別な出来事
を知り、心で感じることに障害の有無は関係がない
ということ。ベッド上にも季節、祭り、愛などすべ
てが在ることへの理解が広がっている気が致しま
す。

今年も俳句の選者、河野敏之さんの講評が圧巻で
した。

四十年間二つの施設に暮らされた後、今グループ
ホームに居住の七十七才。言葉が不自由なので、文
章にて講評を頂きます。

雑詠の部一席に選ばれた、カザ地区に届け市民の
花火かな」。口文字でこの句を詠んだ作者田中鉄也
さんの心情と、句の衝撃を鮮やかに表現されました。

今は亡き河野さんのお母様に、目の覚めるような
お手紙を頂いていた頃を思い出します。何度も姿勢
を正して読みました。その、穏やかで深い愛を表現
する力は、河野さんに受け継がれ私達を照らしてい
ます。

地域福祉部第三者評価説明会

地域福祉部

サービス管理責任者 辻 啓司

地域福祉部で
は、今年度の事
業計画の一つと
して、福祉サー
ビス第三者評価
を受審します。
第三者評価受
審の目的は、事
業所が主体的に
取り組むことに
より、評価結果
をもとにサービ
スの改善を図り、ご利用者や家族の皆様情報を公
開することによって、福祉サービス事業所の良質な
サービスの水準を確保し、向上を図って行くもので
す。



今回は、生活介護の2事業所を対象に行います。
評価は、事業所の自己評価、評価調査者による「訪

問調査」そして、ご利用者やご家族の「利用調査」
の三つの方法により行われます。
写真は、先日、第三者評価機関より、スタッフへ
の事前説明会を開催した様子です。

からし蓮根箸置き

地域福祉部

サービス管理責任者 前田 明

からし蓮根箸置きはデイケア陶芸教室で製作し
ています。境講師の考案をもとに誕生。真ん中の丸
は利用者の皆様。それを取りまく大小の丸は地域の
人々や私達スタッフ。そしてハートマークは「愛」
をイメージしています。

愛隣館の陶芸工房(愛隣工房)では利用者の皆様
と心をこめて製作しております。是非、立ち寄って
手にとってみて
ください。

製品は2個1
組三〇〇円で販
売しております。

熊本市中央区

南坪井町「UM
U(うーむ)」で
も販売し、売れ
筋評価を頂いて
おります。





相談支援員

守田 直人

五月より生活支援員から相談支援事業所、相談支援員へ異動となり、先輩方や利用者の方にご指導頂きながら、新鮮な気持ちで仕事をさせていただいています。

福祉の世界に入り、それまであまり意識していなかった、「生活」「暮らし」とは何だろう?と考える所が面白い仕事だと感じています。

相談業務においてもその方の生活の在り様を共に考える場面が多いです。相談される方それぞれの価値観や望みは異なるので、これから多くの方の話を傾聴する中で学び、その方にとっての喜びや充実を気付けるようになりたいです。

利用者の方が暮らしや人生にワクワクしながら、一緒に目指す生活に向かって伴走できるようにになりたいと考えています。

第三十回くまもと車いすふれあいジョギング大会

十月四日(土)杉並木さん公園にて、くまもと車いすふれあいジョギング大会が開催されました。

た。

愛隣館から四名、愛隣倶楽部から三名、計七名の方が参加しました。

大会は、一キロ、三キロ、ロードレースの三キロに分かれ、三キロに一名、一キロに六名の方がエントリーしました。

この日は、天候にも恵まれ、付き添いに二名の学生ボランティアと楽しくコースをジョギングできました。

気持ちよく走り切った後は、皆で楽しく、ふるまいのだきまをいただきました。

この大会も三十回を迎え、熊本県はもとより、

福岡、佐賀、大分など県外からも多数の参加者があり、広場では、くまもんも大会に駆け付け、各々握手をしたり、記念撮影をしたりと楽しいひと時を過ごす事が出来ました。

参加された皆さん、完走お疲れさまでした。



付き添いのボランティアと皆さんで記念撮影

飾り馬の訪問

藤崎八幡宮例大祭の随兵行列(ずいびょうぎょう

れつ)に出場する団体より、

「皆さんに少しでも、例大祭の楽しさを味わってほしい」との思いで、九月十四日(日)

若藤會の皆さん、十九日(金)武蔵連合の皆さんが飾り馬を伴い訪問頂きました。



威勢の良い勢子の掛け声とラッパの音色で、元氣よく踊る様は、周りを取り囲む観客とその場所が一瞬にして、例大祭の雰囲気になりました。

なかなか観る事の出来ない飾り馬を、毎年これだけ近くで見るのは大迫力の一言に尽きます。

次は、半被を膝に掛けて記念撮影です。飾り馬のあまりの大きさに緊張気味でしたが、馬がとても大人しかったので、思い出に残る写真が撮れました。お越し頂いた団体の皆様、ありがとうございました。

『あいめーる』の企画・編集は利用者で構成された広報チーム、キャリアビジョンが担っています。

地域生活支援事業

地域活動支援センター

相談支援事業 特集

まちなか交流サロン ぴあぴあ



地域活動支援センターぴあぴあは、障害（身体・知的・精神・障害児・難病等）をお持ちの方々が、いつでも気軽に立ち寄れる相談の場、憩いの場として開設しています。

ぴあぴあでは、絵手紙教室、手芸教室、パソコン教室、料理教室など様々なプログラムを開催し、多くの利用者の方に参加して頂いております。

現在の登録状況は男性九名、女性二十二名、合計三十一名です。平均年齢四十九・五歳

営業時間 一〇時～十七時

月曜日～土曜日（水曜日除く）

祝日も通常通り開所しています。

TEL・FAX 0968-44-1231



散歩：視覚の障害などのため、一人では散歩をすることが難しい利用者と一緒に、近所の公園や神社を散策。運動不足の解消と、気分転換に有効です。



絵手紙教室：毎月第2、第4木曜日に外部講師を迎えての絵手紙教室。夏には暑中お見舞い、年末には年賀状と在宅、施設の利用者が大勢参加します。



料理教室：ピザ、ホットケーキ、たこ焼き、クッキー、お好み焼き等々、利用者の方の意見や要望を基に、2週間に一度、全員で取り組む人気のプログラム。



市町村の地域生活支援事業の一つとして、地域活動支援センターと相談支援事業があります。
地域活動支援センター事業は、障害者等が地域活動支援センターに通うことにより、創作的活動または生産活動を行い、社会との交流促進等の便宜を供与します。
相談支援事業は、障害者等からの相談に応じ、必要な情報の提供権利擁護のために必要な援助を行います。

愛隣館指定相談支援事業



愛隣館指定相談支援事業所には、四名の相談支援専門員が配置され、障害をお持ちの方が地域で生活していく上で必要なことを一緒に考え、福祉サービスの利用などをお手伝いします。

福祉制度・福祉サービス・生活・教育・発達・病気・教育・住まい・友達や仲間作り・趣味など、各種の相談を受け支援します。

計画相談、地域移行、地域定着支援、障害児相談を承ります。

営業時間 八時半～十七時半

月曜日～日曜日

TEL 0968-43-2771 / Fax 43-2793



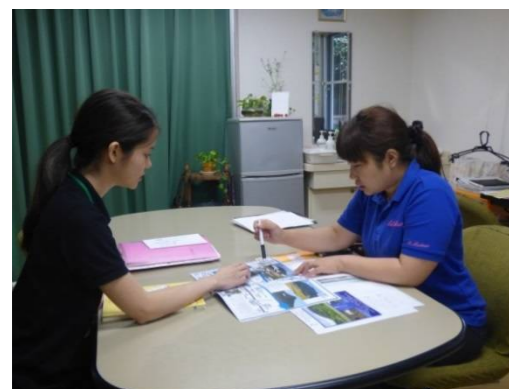
サービス担当者会議：サービス提供事業所等とのサービス利用計画を検討



山鹿市出張相談：毎週水曜日 午前中山鹿市健康福祉センター1Fにて



相談受付：電話、訪問、来所など様々な方法で相談が寄せられます。



実習生の受け入れ：社会福祉士を目指す学生へカリキュラムに従って実習を指導



モニタリング：事業所を訪問し、ご本人と交えて、サービスの利用、提供状況を確認



アセスメント：利用者やご家族と一緒に、必要な生活の課題、支援を検討

月見歌会入選紹介

名誉理事長賞

デイサービス 友と語らい 朗らかに
母の自慢の 愛隣の家

坂田照美

理事長賞

盆休み 人は避暑地へ 海外へ
我は一ツ目神社 木陰は涼し

友枝正海

館長賞

就労を 元気に旅立つ 君達を
見送る我の うれしくさびしい

中原幸子

愛隣荘賞

登り来て 社の風は 秋の色

福島好美

月の部

短歌一席 横向きに やつとなれたか 楽になる
今日は月夜と 初めて気付く

吉田昌樹

二席

いい曲を かなでてみたい
集会室 窓の外には 上弦の月

栗原正樹

三席

仕事終え だんだん我が家
近づいて 迎える犬は 月光を放つ

萩尾真由美

俳句一席

八千代座の 螢を照らすや 夏の月
福島好美

二席

月見れば 母親の顔 思い出す

もみじ

三席

月うさぎ まんじゅうひとつ
鶴崎さおり

雑詠の部
短歌一席

夏の日の 恋は溶けゆく かき氷
日にきらめいて 甘く滴る

岩下力

二席

中庭で 車椅子押す 影法師
ふり返っては 母親の顔

阿南志穂

三席

寝たきりの 窓辺に見ゆる
梢から 何も語らず

我顔てらす
宮本浩二

俳句一席

ガザ地区の 市民にとどけ 花火かな
田中铁也

二席

特老に 母も仲間と 飾り馬
萩尾真由美

三席

千灯笼 ひとりひとつの 祈り込め
国武みさえ

地域特別賞

熊本日日新聞社 岩下賞
中庭で 車椅子押す 影法師
ふり返っては 母親の顔

阿南志穂

三菱総研 高森賞

夏の日の 恋は溶けゆく かき氷
日にきらめいて 甘く滴る

岩下力

千灯笼 ひとりひとつの 祈り込め
国武みさえ

城北高校校長 竹原賞

ゆらゆらと 出雲を載せて
担ぎ行くピンク法被の 華やかさ

森川ともみ

城北高校事務長 佐伯賞

中庭で 車椅子押す 影法師
ふり返っては 母親の顔

阿南志穂

燈心と 揃うピンクの 鳥居基

国武みさえ

八千代座 石橋賞

夏の日の 恋は溶けゆく かき氷
日にきらめいて 甘く滴る

岩下力

鶴城中学校 山西ふじ子賞

大輪の 芙蓉に見とれ 箸を止め
朝餉の介助 娘に急かさるる

山口博美

路地裏の 風に遊ぶや 氷旗

福島好美

加来信二賞

水の中 自由に動く 手と足と
水のしぶきが 自分にかかる

杉山伸一

君思い 月を眺めて 涙する

かっぱ太郎

山鹿ニューグランドホテル社長 吉川賞

月あかり 夜風に乗れる ものならば
のぞいてみたい ニヤンコの会議

伊豆永鶴代

花は咲き 季節はめぐり もどらない
水の流れも 私の光も

池田良子

山鹿女将の会 吉川賞

辻さんと 月見したいな えんがわで
小崎あゆみ

あいたしもうた 味噌も醤油も
切れとった 河津政男

味噌も醤油も 切れとった

味噌も醤油も 切れとった

江上理砂子賞

電動で 自由気ままに 走れたら
会いに行くよと 十六夜の月

村田昌子

坂本祐子賞

就労を 元気に旅立つ 君達を
見送る我の うれしくさびしい

中原幸子

十六夜の月を迎える九月九日、食堂に於いて月見の宴を開催しました。

地域の方々、入居者、利用者、職員が多数参加。三浦貴子館長の挨拶に続き、入居者の長谷部一喜さんの乾杯の音頭でお茶会が始まりました。

応募百十五作品。月の部・雑詠の部の俳句と短歌が披露されました。

会も和やかに進みステージでは、大坂国子さん、三浦かな子さん、早川まき子さんによるお琴の演奏があり、参加者の皆さんは優雅な音色に包まれました。

最後に、各部

門の入選句、歌の発表と表彰を行いました。

今年も地域特別賞として、たくさんのお賞を出していただき、珠玉の作品

が選ばれ、喜び一杯の宴となりました。



デイケア利用者

永井 英治



私は植木町出身の五十七才です。愛隣館を利用し始めたのは六月初めです。今まで家であまり動かなかった私ですが週三回利用し、自分でも大分変化がありました。

私は第一に皆様の笑顔にびっくりしてしまいました。私は無口ですが、私に話し掛けてくれています。話しかけが無ければ今の私は変われないと思っています。でも私は体力のない今自分ができる事を頑張っています。

目標をもってそれを一つずつ頑張っています。これからは愛隣館の皆様にお世話になります。これからもよろしくお願ひします。



愛隣倶楽部利用者

竹熊 和孝

皆さんこんにちは、竹熊和孝(五十四歳)です。六月より愛隣倶楽部を火曜日と金曜日の週二回利用しています。

倶楽部を利用する前は家族と家で生活していたので、利用初日は、凄くドキドキしました。

利用者の皆さんと職員の皆さんとの交流がとても楽しみで、皆さんと食べる昼食もとても美味しいです。

倶楽部の皆さん、愛隣館の皆さん、これから宜しくお願いします。

新人職員紹介



食生活課

栄養士 増本 英恵

はなえ

こんにちは。今年八月、愛隣荘より異動して来ました増本英恵です。

愛隣荘では色々な行事等で入居者の方々と共に生活をさせて頂きました。

沢山の思い出がありお別れがとても切なかったのですが、また愛隣館で新たな出会いがあり嬉しく思います。

まだまだ不慣れで、皆さんには御迷惑をおかけするとは思いますが、一日でも早く先輩方から学び、美味しい食事作りが出来る様に頑張っていきたいと思っています。どうぞ宜しくお願いいたします。

第二十一回法人愛隣園夏祭り

八月二十三日(土)、恒例の法人夏祭りが、愛隣の家の広場で行われました。

今年で二十一回を迎える夏祭りには、入居者・利用者やそのご家族、そして地域の方々も含め六百人

を超え参加されました。

三浦一水理事長の挨拶につづき、早速、各グループの出し物があり、バナナの叩き売りやコミカルなダンスの披露等もあり、ステージと客席が一体となり、祭りは大いに盛り上がりました。

ステージの最

後は、六名の職員灯笼娘による幻想的な山鹿灯笼踊りが披露され夏祭りの幕を閉じました。

当日は、老若男女、子供達の参加も多くなりました、地域に根づいた盛大な祭りとなりました。



第九回熊本県障がい者オセロ大会

九月二十三日(火)熊本県障害者スポーツ・文化協会主催で、熊本県社会福祉事業団の会議室・娯楽室にて、障がい者オセロ大会が行われました。

職員一名の付き添いで、福原隆博さんが初めて参加しました。

参加者は三十二名でした。予選では、トップ通過で勝ち進み、順位決定戦は四名での総当たり戦で、二勝一敗が二名いたので、コマの数が多い福原さんに軍配が上がりました。決勝戦は、どちらが勝ってもおかしくない接戦でした。対戦結果は、なんと同

点。時間があれば再戦ですが、時間もなくコイントスで勝敗を決めました。

朝から、今日は黒の気分だったので黒に決め、いざ、コイントス。コインは黒に：「運も実力の内なんですかね」と、本人コメント談。劇的な優勝を持ち帰りました。

「優勝できてとても嬉しいです。自分のスキルアップにもなりました」「団体戦のオセロ大会にも参加してるが、まだ優勝したことがないので参加した皆で優勝を持ち帰りたい」と熱く語ってくれました。福原さん、優勝おめでとうございませう。



県民体育祭 山鹿市で開幕

第六十九回県民体育祭が九月二十日(土)、二十一日(日)の二日間、山鹿市を主会場に開催されました。「夢への挑戦 灯笼のように光り輝け 山鹿県体」をスローガンに、二十郡市の代表約六九〇〇人が二十四競技で熱戦を繰り広げました。

各競技種目の中から愛隣館は、水泳に三浦一水理事長、米田清久さん、古川和代さん、中島恵子さん

の四名。ボウリングに中村武光さん。テニスに堀田直美さん。バスケットボールに納富久さんが参加しました。

水泳では、オールブリュット作家の松本寛庸さんも、五十メートル自由形と二百メートルリレーに出場しました。

平泳ぎで米田さんが県大会優勝を飾り、中島さんが五十メートル自由形で二位に入賞を果たしました。

各競技に参加された皆様、二日間本当にお疲れ様でした。そして、入賞された方は、おめでとうございました。



※写真は水泳会場 山鹿市長らの激励

お知らせ

十月二〇日(月)より、福祉課、障がい福祉係は山鹿市役所 新庁舎一階に移転しました。

T861-0592

山鹿市山鹿九八七番地三

0968-43-0052